

平成 31 年 4 月 1 日
ハイデルベルグ・ジャパン株式会社
ライフサイクルオペレーションズ本部

カスタマーケアセンター
災害対応ダイヤル
電話番号 0570-666-431
IP 電話対応 03-5715-7248
ファックス番号 03-5715-7190
メールアドレス shi.svsupport@heidelberg.com

災害時における製品の取り扱いについて CtP 製品

地震、水害をはじめとする自然災害、ならびに事後の計画停電においては、人的、資産的な被害や、事業の中断など、様々な事態が生じるおそれがあります。
ご利用中のハイデルベルグ製品の被害、または製品に起因する被害を最小限に留めるため、下記内容のご対応をいただけますよう、よろしくお願いいたします。
なお、本書面の記載事項は、災害の事前対策ならびに発生時対応の参考としていただくものであり、復旧を保証するものではありません。

1: 災害前の備え

各種災害時には停電が伴う場合が多く見受けられますが、CtP、プレート自動搬送装置、自動現像機、コンプレッサなどの製品においては、可能な限り停電発生前に製品の稼働を停止させることが重要です。これにより電力復旧後の予期せぬトラブルも回避することができます。
そのため日頃より各設備の電源切断の手順を確認し、緊急時に速やかに停止作業を行えるよう準備しておきましょう。

2: 災害直後の対応

製品稼働中に災害、停電が発生した場合、製品自体の電源に加え、ネットワーク機器なども通常とは異なる状態で停止していると思われます。その後、そのまま製品を稼働してしまうことでより大きなトラブルに繋がる可能性がありますので、下記のご確認をいただけますようお願いいたします。

- ・ 震災時には製品の設置位置が変わってしまう可能性があります。製品が所定の設置位置から移動していないか確認してください。位置ズレが生じている場合には製品は稼働せず、ハイデルベルグにご連絡ください。
- ・ 各装置のケーブル類や自動現像機用の水道配管、コンプレッサ用のエア配管などに破損や切断などの影響が生じる場合がありますので、状態を確認してください。
- ・ 水害時には、事後の通電により火災などが生じる可能性があります。製品が水没、水かぶりした場合には、通電を行わず、ハイデルベルグへご連絡ください。

2-1: 通電時の確認作業

自動現像機は水道水の自動供給を行う場合もあり、水をくみ上げる給水ポンプを使っている場合は給水ポンプの復旧ができておらず、断水が継続している場合もあるため確認が必要です。

電力が復帰したあとは、エアコンなども復帰して室内温度が一定になった後に、CtP、コンプレッサ、自動現像機の電源を1度入れてみましょう。テスタ(電圧計)などで確認をしながら進めるとより確実です。電圧がない場合は元のブレーカーが落ちていることも考えられます。

CtPについては異音がないかを確認してください。もしも異音がありましたら、どこで異音がしたのか「エラー番号」を控えてください。

自動現像機については電源 ON 後「ゲンゾウタンクエキメンテイカ」というメッセージが出る場合があります。その場合は電源を OFF にし、現像液と水の希釈液を補充してください。

2-2: 通電後の確認作業

CtP、自動現像機共に機械が立ち上がり Ready 状態になれば1版のみ出力をしてください。正常に出力されましたら生産を開始してください。

震災時、自動現像機については所定の設置位置からの移動が認められない場合でも、現像液や定着液などが装置内部で大きく揺れ、隣の槽に入り込みプレートの現像処理が正しく行なえない場合があります。このような場合は現像機を清掃し、改めて現像液のセットアップを行ってから正常なプレート処理の確認を行ってください。

3: 計画停電

災害発生時には、電力会社により大規模な停電が計画・実施される可能性があります。

電力が復帰した後は 前述 2:【災害直後の対応】以降の記述を参照ください。

上記作業において問題が発生した場合は、弊社カスタマーケアセンターまでご連絡をお願いします。